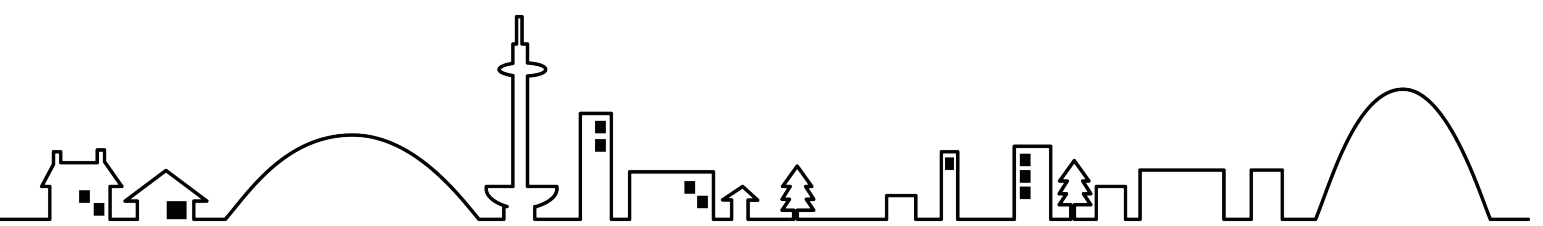




第14回 京都から発信する政策研究交流大会
学生企画

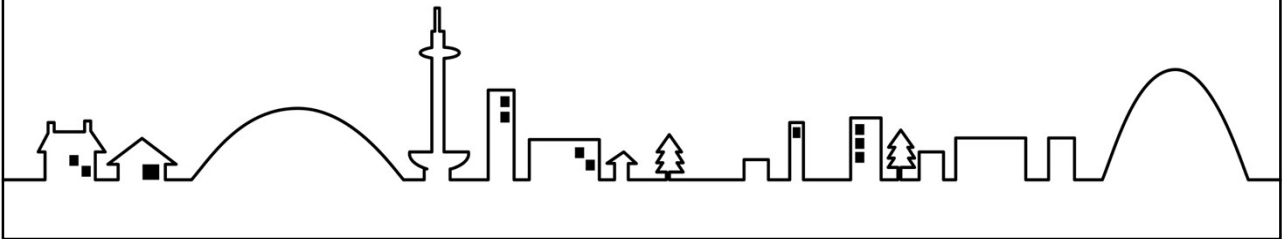
若者が住みたいまち

A to Z



若者が住みたいまち

A to Z



1

企画目的

大会の参加者である学生は、今後、社会人として「まち」をつくる一員となります。私たち若者は将来、どのような地域に住み、どんな仕事をしていくのかを決断しなくてはなりません。しかし、その選択にあたりまちそれぞれの自然や文化、地域コミュニティなどの地域資源の魅力はあまり意識されていません。

そこで本企画では、都市計画、政策、個人としての生き方を研究し、地域資源の見える化を行う「A to Z」というプロジェクトを行っている塩見直紀氏にご協力いただき、本大会参加者がもつ「若者が住みたいまち」のキーワードを集めて共有することで、将来のライフスタイルを考えるきっかけを提供します。

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

2

2

ゲストスピーカー



塩見 直紀 氏

(半農半X研究所代表、福知山公立大学地域経営学部特任准教授)

京都府綾部市生まれ、同市在住。
株式会社フェリシモを経て、2000年に半農半X研究所を設立。
21世紀の生き方、暮らし方として、「半農半X」(エックス=転職)を提唱。
総務省地域力創造アドバイザー。
著書に『半農半Xという生き方【決定版】』(ちくま文庫)など。本は台湾、
中国、韓国でも翻訳され、海外講演も行う。
「人や地域のXの見える化」、「ことばで世界をデザイン」を目指す。

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

3

3

講演内アンケート1

講演内アンケート1



アンケートは終了しました。

QRコードをスマートフォンで読み取り、googleフォームの質問に解答してください。

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

4

4

A

遊び心

都市機能を充実させつつも、施設や建築に遊び心を取り入れ、住んでいて息がつまる事のないまちが良いです。会議室では良いアイデアが浮かばないのと同様に、堅苦しい町では余裕が生まれず、使途の高い暮らしが出来ないかもしれません。合理性を求めすぎず、まち全体に遊びを持たせたまちづくりが出来ればと思います。

京都産業大学 八塩ゼミ 教員多忙化対策チーム

安心

安心できるまちとは、福祉制度が整っている街であると考えます。そのような街では安心して子育てが出来、身体が不自由になったとしても地域で支えあうことが出来るので、これから住み続けていく若者にとっても住みやすい街になると思います。

京都橘大学 現代ビジネス学部 経営学科 阪本ゼミ

温かい町

近年では育児や介護の孤独化、さらに未婚化、核家族化が進んでいます。町ぐるみで支えあいながら育児や介護を行えるコミュニティが形成されている「温かい街」が今若者が住みたい街の在り方ではないか考えます。

龍谷大学 井上ゼミナール

B

Byodo

平等なまちとは、老若男女問わず、皆が生き生きと輝くことのできるまちであると思います。また、平等に与えられた機会の権利を当然のように行使することのできるまちであると思います。そのようなまちでは活発な議論が繰り広げられたり、文化が発展したりなどの魅力溢れる素敵なまちになると思います。

京都産業大学 吉澤ゼミ 3班

美術

ほとんどの人が忙しく働く世の中で、娯楽の一環として美術を取り入れることで、心休まる街を作れるのではないかと考えます。美術を創作する人だけでなく、見る人も楽しくなるので良いのではないかと思います。

京都産業大学 児童福祉ゼミ

バイアス

LGBT、身体障がい者の人たちが、社会事業に貢献できる社会のことです。また、身体に障がいを持った人が不自由無く暮らすことのできる街づくりを指します。

龍谷大学 神谷ゼミ

C

Cooperation

政府や役所がいくら良い政策を作ったとしても、市民の協力無しではその遂行は不可能であります。そのため政策実施において善良なる市民の一人一人が良いと思った政策に協力し、行動することで、良い社会が作られていくと考えます。

同志社大学 野田ゼミ B班

Charming

この街では住民同士が支え合っていて、子供を安心して育てられるように子育て支援サービスも充実しています。そのようなまちはこれらの社会で模範的なまちになると考えていて、魅力的であると同時に、特に若者にとって住みやすいまちだと思います。

佛教大学 社会学部 上田ゼミ

D

同年代

若者が住みたいまちとして、まずは交通の便が良いことが挙げられます。友人と遊びに行くときに簡単にまちな出かけられるのは重要なポイントの1つであると考えます。また、同年代が周りにたくさんいることも大切であると考えており、一人暮らしをする若者であれば近所に歳の近い人がいれば安心感が得られると思います。

同志社大学 川口ゼミ 3班

Drive, 交通

若者が住みたいまちに必要なものは交通手段の整備だと思います。若者が車を持たない分、公共交通機関の料金が高く、減少している地方では若者は住みにくいと考えられます。しかし、現在の地方財政では今以上の公共交通機関を整備することは難しいと思います。そこで、ライドシェアの整備を普及させることが若者の住みたいまちにつながると思います。

京都府立大学 プロジェクトS

develop

私が考える若者が住みたいまちは、若者が持つ創意工夫の考えを豊富に活かすことができるまちです。私の班で調査している内容を例にすると、企業熱のある若者へ、自由にイノベーションすることができたり、ニーズに合った物件へ改築して自治体が貸し出すなど、若者の創意工夫の考えを実現できる街です。

立命館大学 平岡ゼミ 空き家・空き店舗調査班

E

Environment

京都議定書が採択された地、京都として環境に配慮した町づくりを目指すことは当然の義務であると思います。車の数を減らし、公共交通機関の充実を達成できれば、CO2排出量を削減でき、クリーンな住みやすいまち・京都を実現できると思います。だからこそ、我々はロードプライシングを実現するべきだと考えております。

同志社大学 風間ゼミ ロードプライシング班

ecology

京都は、世界的に有名な観光地です。そんな京都にはたくさん大学があり、学生の町でもあると思います。鴨川を始め自然豊かで歴史に溢れるこの町を誇りに思います。同時に、この町を守っていくことが大切だと思います。環境に優しくあることが今後、若者の住みやすい町作りにつながるのだと思います。

佛教大学 吉見ゼミ

F

Fun(楽しむ)

言葉の通り、若者が楽しみながら暮らせることが、何よりの充足です。暮らしだけでなく、まちづくりの段階から楽しむことができれば、まちはより良いものになると思います。

福知山公立大学 杉岡ゼミ

Flare

一度燃え始めた想いは消さずに燃やし続けて、住みたい町になるような地域に対する熱意に変えていけるといいと思います。熱意がメラメラと熱いほど、若者が住みやすい町、若者に住んでほしい町になると思います。

福知山公立大学 佐藤ゼミ

Facilitation (容易化、促進)

行政やサービスだけでなく問題解決のための政策が一時的な効果だけではなく、時を超え世代を超え改善、促進されつつ続くような持続可能な社会を目指します。若者が社会で少数派となりこれからもそうであろうこの時代において、長期的視野で政策を促進する事が住むインセンティブとなり得えます。

同志社大学 風間ゼミ 自殺防止政策班

G

学校 (Gakkou)

若者がそこに住むことを考える時、その将来にまで目を向けることになります。将来、結婚して子供が生まれた時のことを考えると、良い学校の存在は必要不可欠です。また、子供がいるために、地域の見回りパトロールや子育てなどを共に行う新たなコミュニティも形成されることとなります。

京都府立大学 公共政策学部 2年生窪田ゼミ

Global

グローバル化が進み普段から海外の方と関わる機会は今後増えていくと思います。しかし、自分で関わる機会を設けなければ関わるのは難しいという問題点もあります。普段から海外の方と関わる街であれば、お互いの国についての理解も深まり、若者がGlobalに活躍しやすく住みやすい街になるのではないかと考えます。

同志社大学 風間ゼミ 色彩まちづくり班

頑張っている若者を 応援する町

近頃、若者でも起業し、経営者が増えてきているのが現状です。そこで、過疎化が進んで来ている市町村で頑張っている若者を応援できる環境が整っているところがあると良いのではないかと考えます。

立命館大学 桜井ゼミ 教育班

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

11

11

H

人to人

今の世の中、人との繋がりが希薄化しているように感じます。SNSやメディアの発展で、繋がりが多方面になりましたが、その反面、繋がりが薄い為になすれ違いやささいな事からのぶつかり合いが頻繁に起こっています。これらを解決する方法として、地域と若者の繋がりが強いまちが住みたいまちだと思います。

同志社大学 新川ゼミ 観光班

ふるさと

ふるさとの理想像とは、地域内で経済が循環し、雇用が生み出され、福祉が充実しており、環境が保全されており、持続可能な街であると考えられます。

立命館大学 政策科学部 平岡ゼミ 6次産業班

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

12

12

I

インバウンド

外国人観光客が増加しているため、近年「インバウンド」が注目されています。魅力的な観光地にするためには、地域の特色に合ったものをコンテンツに盛り込む必要があると思います。

龍谷大学 深尾ゼミ A班

Infinity（無限大）

可能性が無限大の街
無限大の可能性を持った若者が自由な発想で何事にも挑戦できれば良い街、住みたい街になると思うからです。

京都産業大学 菅原ゼミ 空き家班

生きやすいまち

私たちはみんなが生きやすいまちに住みたいと考えます。例えば外国人にも分かりやすい掲示があったり、住民が高齢や妊婦になっても生きやすいバリアフリーがあるといった気遣い等があることです。また、交通機関が便利であることも重要な判断基準です。

佛教大学 大東ゼミ 街づくり班

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

13

13

J

邪魔にならない

生活の中で近所に住む人々の邪魔にならない町に住みたいと考えています。朝早くから騒音など邪魔にならない町に住みたいです。地域住民同士が不快にならないようなお互いが尊重しあい、お互いが邪魔にならないような快適に過ごせるような街に住みたいと考えます。

佛教大学 大東ゼミ 子どもグループ

地震対策

世界中で大災害が頻発し、多くの犠牲者が出ています。だからこそ、大地震などが発生しても、住民が協力しあって常日頃から一致団結できるまちづくりを進めることが、地震対策の1つになると思います。

学生実行委員 立道 成美

自分自身

情報社会が進み、さまざまな情報で溢れています。その中で、自分自身の判断軸を持ち、自分の考えを自ら外部に発信できるような人が増えていくまちを形成したいです。

学生実行委員 立道 成美

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

14

14

K

kawaii

この言葉は今や世界でも通じる日本代表する日本語です。主に、若い女性がよく使い、最近ではインスタ映えするような「可愛い」ものに若者が集まる風景をよく目にします。こうした「kawaii」をテーマにしたまちづくりといってもただ可愛いものをつめ込むだけでなく、若者の思いを自由に表現できるまちという意味を込めて考えました。

同志社大学 新川ゼミ 空き家若者保育班

帰(ki)

人々が日常生活を送るうえで家は落ちつける数少ない場所であると考えます。特に若者は進学、就職で新たなまちに住むことも多いでしょう。そんな身の回りに変化が起こるタイミングは特に住む家、まちは重要です。ですので若者が「帰り」たくなる安心、安全、やすらぎのあるまちが必要であると考えます。

佛教大学 大谷ゼミ 佛縁サンチェスト

観光業、おもてなし

2020年にむけてインバウンドの需要が増加すると言われています。外国人観光客に対して、心配りのできる多様なおもてなしなどができ、外国人観光客と街の住人が共に満足できる街があればいいと思います。

立命館大学 台湾プロジェクト LGBTグループ

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

15

15

L

landscape

若者が住みやすいまちの提案として、景色が良いほうがよいと思いました。まちがきれいだと若者も住みたいと思うので、美化活動を積極的に行うまちを目指していくことも必要だと考えました。また、風景がきれいなところや珍しい建物にも惹かれると思うので、美しい風景や建物を保全しているまちも良いと感じました。

同志社大学 新川ゼミ チームリョウジ

LINK

人々のつながりが充実している町は、何気ない会話や笑顔、絆で溢れています。近年、人々のつながりが進行しているため、若者の住みやすい町とはつながりのある町、「Link」で満ちている町であると考えます。

佛教大学 大谷ゼミ 美山班

ライオン

今の若者は草食化が進んでいると言われています。でも変わらず、社会は弱肉強食なのです。ゆえに、ライオンのように野心家であり、かつ芯の通った人が増え、共に高めあえる住民で溢れるまちにしたいです。

学生実行委員 立道 成美

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

16

16

M

交通機関

若者が住みたいまちにするためには、電車やバスなどの交通の便をよくすることが大切だと思います。なぜなら、車を持っていない若者が多いため、移動手段である電車やバスの本数を増やしたり、料金を安くすることで、若者が住みたいまちになると考えます。

佛教大学 大束ゼミ 障がい者自立支援グループ

真心

一人一人が真心を持ち、優しさで溢れる街をつくることで、街全体を通して年齢の壁を超えたコミュニティが育成されると思います。また、それにより、活気溢れるすてきな街になり、住みやすい環境が整うと考えました。

同志社大学 新川ゼミ 防災班

memory(思い出)

街中に思い出を作れるスポットや名所がある街に住みたいと思います。思い出とは今まで自分たちが生きてきた証だと思うので、その思い出が作れると、自分たちの街に対する思い入れも強くなると思います。その結果、自分たちの街のことも好きになると思うので、そのような街に住みたいと思います。

同志社大学 風間ゼミ 外国人観光客避難誘導班

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

17

17

N

人間

人がたくさん住んでいて、様々な考え方を持つ人たちと交流できるまちに住みたいと思います。

立命館大学 信州安曇野プロジェクト 山雅班

Natural(ナチュラル)

3つのまちを考えました。第1に自然が豊かで森林や河川などと共に共存するまちです。第2に何も飾ることがない、そのまちの「自然な」魅力、良いところが溢れるまちのことです。第3に住む人全員が自然体で住み続ける事が出来るまちを考えました。

京都橘大学 安原涼太

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

18

18

O

おもいやり

私たちがこのキーワードを考えた理由は、年齢や性別関係なく、地域に住む人々が、おもいやりをもって暮らしていけるあたたかいまちを、若者を中心につくっていきたくと思ったからです。

同志社大学 新川ゼミ 達郎先生チーム

oishii(おいしい)

おいしいまちとは、特産品などそのまちならではのグルメが豊富なまちです。おいしいものがたくさんあるまちには人々が集まり、賑わっているので若者が住みたくなると思います。

京都橘大学 田中 梨乃

P

ピカピカ

ピカピカなまちとは、ゴミが少なくきれいなまちであり、心地よい気分になり一人一人が環境に配慮するなど他の人の事を考えられるようなまちになります。そのようなまちでは、助け合いが生じるなど人の心がきれいなので犯罪などが少なく治安が良くなります。結果として若者が住みたいまちになると思います。

京都産業大学 上村ゼミ 自転車班

Privacy:個人の

住みたいまち=安全なまちだと考えます。近年SNS等に自分の顔をアップする若者の姿が多く見られます。更には、リアルタイムで現在地を発信する者もいます。誰でも閲覧可能であるその性質を考慮し、自信のPrivacyを守り、安全な生活をおくれるような所にしていきましょう。

同志社大学 野田ゼミ A班

Q

quality 品質, 質

質が高いまちに住むということは、良いものに触れる機会が増えるということです。若いうちに質が高いものに触れると感性が磨かれると思います。そして、若いうちに質の高いものに触れておくと年齢を重ねて次は若い人を引っ張っていくとなった時に繋がっていくと思います。こういったことからこの単語を選びました。

京都産業大学 上村ゼミ 空き家班

休息の地

仕事や学校から疲れて帰ってきたときに、地域全体がその疲れを癒してくれます。抽象的ですが、地元に対しての愛を感じられたり、実家のような安心感を得られます。何があるというわけではなく、穏やかで静かな心休まる場所が、本当に住んでいて心が満たされる場所だと思います。

学生実行委員 城戸 優希

R

流行

流行を常に取り入れることで、若者の人気を集めているまちが、原宿です。このまちを模倣して、流行をいち早く取り入れることで、若者の意識を向け、流行のまちとして、他方から多くの若者たちが訪れるのではないかと思います。

京都文教大学 F230

Reaction; 反応

人々が何事にも反応し、当事者意識を持ち、自分たちがまちを変えていくという発想で溢れるまちに住みたいです。

学生実行委員 立道成美

S

スマイル

若者が新生活を始める上で、不安が多くある中、移ってきた新しい街が暖かく笑顔が溢れ、地域交流の盛んな場所であれば、安心して暮らすことができると思います。

同志社大学 真山ゼミ Cチーム

そばにいる

人々のつながりが希薄になり、社会から孤立する人間が老若男女問わず増加しています。特に単身者にとってはネット環境と最低限のインフラさえあれば、どこに住んでも変わらないでしょう。こんな時代だからこそ、誰かがそばに居てくれると常に関心されるような、共同体意識のあるコミュニティが形成されるまちが必要です。

立命館大学 高山 昌大

T

土地の有効活用

若者が何かをしたいと感じたとき、それに適する土地をスムーズに、柔軟に提供できる街は魅力的です。高齢化が進み、これから空き家等も増える中、権利の有無を明確にし、適切な管理のもと、それらを住民で共有できると、新しいことに挑戦しやすくなったり、コミュニティ形成の一助にもなると思います。

立命館大学 本行 将徒

ちょうどいい

都会だと住みたくないが、田舎すぎるのも嫌だ、という方は多いと思います。そういった方々が住みやすいと思うような街、「ちょうどいい街」が理想です。例えば公共交通機関やインフラがある程度整備されているが、ビルが乱立しているわけではない街などがいいと思います。

学生実行委員 永野 浩暉

U

ウキウキ

たとえば花壇や街路樹を整備したり、ゴミを捨てると音が出るゴミ箱を設置するなど、街を綺麗に保ちたいという工夫をして、歩くだけでウキウキするような、綺麗で楽しい街になったら住みやすくなると思います。

立命館大学 政策科学部 アクアソーリズムプロジェクト

海

海のある街は海産物が安いので、色々な食の楽しみができます。釣りやボートなどで楽しむもよし、海産物を食べるもよしということです。仕事+半自給+娯楽という新しい生き方をすることもでき、自分の地域だけで生活を賄えるのは、海があることによる大きな恩恵ではないでしょうか。

学生実行委員 城戸 優希

V

View

Viewには「視点」と「景色」という意味があります。第1の「視点」は、多様化する「視点」が包摂できる街を目指すものです。第2の「景色」は、京都のように歴史的・文化的な「景色」と現代的な「景色」が融合した街を指します。

立命館大学 上久保ゼミ 女性の社会進出班

vacation

vacationには休暇という意味があります。休暇は大学生だけでなく、全ての人々が望むものです。休暇になると例えばお正月の場合はおせち料理を食べる等休暇は普段と違う生活をすることもあります。

学生実行委員 村山 雄人

Valuable

Valuable の価値のあるという意味はさまざまな場面で用いることができます。例えば、歴史的価値のように人がそのまちに住みたいようになるような一般的なものもあれば、また個人がそのまちに対して特別な価値を見出す個人的価値もあります。

学生実行委員 島岡 麻衣

W

Wagakotoishiki (我が事意識)

我が事意識とは地域の課題に対し、主体的かつ当事者意識を持って取り組んでいく考えのことで、若者が我が事意識を持って地域課題に取り組むことで、地域の連帯が高まり、住民間の共助という地域未来の力が取り戻されます。これは子育てと仕事や孤立といった若者にとってより住みやすい街を作る契機になると思います。

京都大学 京都府政策提言ゼミ

Wa 和

和のあるまちとは、皆が協力をして、困っている人や悩んでいる人たちと助けあうことのできる街であり、そのような街では協力することで多くのコミュニケーションをとることができるので住みやすい街になると思います。

龍谷大学 渡邊ゼミ ナッジ班

X

人×人がつくる居場所

様々なコミュニティに属する私たちは、時々自らの居場所が見えなくなってしまう。そんな時帰るまちに待ってしてくれる居酒屋の店長がいる、マンションに帰ると一階の共用スペースで「おかえり」という声が聞こえる、街を歩くと犬の散歩をするおっちゃんに「おはよう」と…。そんな人×人がつくる居場所を帰るまちに求めます。

龍谷大学 深尾ゼミナールC

ヒト×モノ

Xというアルファベットを「かける」と捉えてヒトとモノの融合を考えました。ヒトは何もないところにはあまり足を運ぼうとせず、何かモノを探してまたそこを目的に動き出すのだと思います。ヒト同士が働きかけ1つのモノを作っていけば若者が住みたいまちになっていくのかなと考えました。

佛教大学 吉見ゼミ 高島グループ

X→+

Xはローマ数字で10の意味があります。中国では十全十美という言葉があります。その意味は、完全で全く欠点のないことです。十全十美なまちはないかもしれないが、みんなが十全十美なまちを目指して頑張ると、そのような雰囲気があるまちも若者が住みたいまちだと言えます。

立命館大学 王 佳偉

Y

若者と地域の連携

若者が地域に入っていきやすい地域であることが若者が住みたいまちであると考えます。若者が都市に出ていく傾向があるのは、地域に自分の居場所がないからだと思います。そのため若者がまちづくりやコミュニティの輪に入っていくことで居場所となり「地元愛」が形成されると考えます。

龍谷大学 深尾ゼミナール B

ゆとり

ゆとりのある街とは、生活に余裕があり窮屈に感じることのない街であり、そのような街に住む人々は、心のゆとりを持つことが出来、新たな出会いや自由な発想、本当にやりたいことの発見に繋がると 생각합니다。

立命館大学 有働 董

Z

全部揃うまち

住民の意見が現実可能な範囲で反映されるまち。交通手段、病院、消防署、保育施設、スーパー等、その街だけで不自由なく生活できる場所が私たちが住みたいまちです。

佛教大学 大東ゼミ「ひよこ」グループ

つなぐ

Zは横棒2本が1本の斜め線につながれていると捉えることができます。そこから、複数のものを組み合わせたり、繋げたりするときには、単純な組み合わせや無難な組み合わせだけでなく、変化や自由な発想を活かして斜めに繋ぐということも積極的に取り入れていくとよいと思います。

京都府立大学 池田 葉月

講演内アンケート2

講演内アンケート2



アンケートは終了しました。

QRコードをスマートフォンで読み取り、googleフォームの質問に解答してください。

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

31

31

講演内アンケート3

学生企画アンケート



アンケートは終了しました。

QRコードをスマートフォンで読み取り、googleフォームの質問に解答してください。

第14回京都から発信する政策研究交流大会 学生企画

32

32

キーワード提供

A

京都産業大学 八塩ゼミ 教員多忙化対策チーム
京都橘大学 現代ビジネス学部 経営学科 阪本ゼミ
龍谷大学 井上ゼミナール

B

京都産業大学 吉澤ゼミ 3班
京都産業大学 児童福祉ゼミ
龍谷大学 神谷ゼミ

C

同志社大学 野田ゼミ B班
佛教大学 社会学部 上田ゼミ

D

同志社大学 川口ゼミ 3班
京都府立大学 プロジェクトS
立命館大学 平岡ゼミ 空き家・空き店舗調査班

E

同志社大学 風間ゼミ ロードプライシング班
佛教大学 吉見ゼミ

F

福知山公立大学 杉岡ゼミ
福知山公立大学 佐藤ゼミ
同志社大学 風間ゼミ 自殺防止政策班

G

京都府立大学 公共政策学部 2回生窪田ゼミ
同志社大学 風間ゼミ 色彩まちづくり班
立命館大学 桜井ゼミ 教育班

H

同志社大学 新川ゼミ 観光班
立命館大学 政策科学部 平岡ゼミ 6次産業班

I

龍谷大学 深尾ゼミ A班
京都産業大学 菅原ゼミ 空き家班
佛教大学 大東ゼミ 街づくり班

J

佛教大学 大東ゼミ 子どもグループ
学生実行委員 立道 成美

K

同志社大学 新川ゼミ 空き家若者保育班
佛教大学 大谷ゼミ 佛縁サンチェスト
立命館大学 台湾プロジェクト LGBTグループ

L

同志社大学 新川ゼミ チームリョウジ
佛教大学 大谷ゼミ 美山班
学生実行委員 立道 成美

M

佛教大学 大東ゼミ 障がい者自立支援グループ
同志社大学 新川ゼミ 防災班
同志社大学 風間ゼミ 外国人観光客避難誘導班

N

立命館大学 信州安曇野プロジェクト 山雅班
京都橘大学 安原涼太

O

同志社大学 新川ゼミ 達郎先生チーム
京都橘大学 田中 梨乃

P

京都産業大学 上村ゼミ 自転車班
同志社大学 野田ゼミ A班

Q

京都産業大学 上村ゼミ 空き家班
学生実行委員 城戸 優希

R

京都文教大学 F230
学生実行委員 立道 成美

S

同志社大学 真山ゼミ Cチーム
立命館大学 高山 昌大

T

立命館大学 本行 将徒
学生実行委員 永野 浩暉

U

立命館大学 政策科学部 アクアツーリズムプロジェクト
学生実行委員 城戸 優希

V

立命館大学 上久保ゼミ 女性の社会進出班
学生実行委員 村山 雄人
学生実行委員 島岡 麻衣

W

京都大学 京都府政策提言ゼミ
龍谷大学 渡邊ゼミ ナッジ班

X

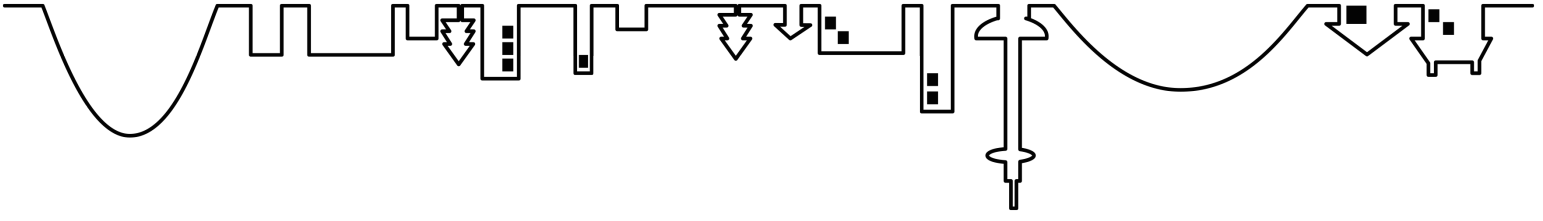
龍谷大学 深尾ゼミナールC
佛教大学 吉見ゼミ 高島グループ
立命館大学 王 佳偉

Y

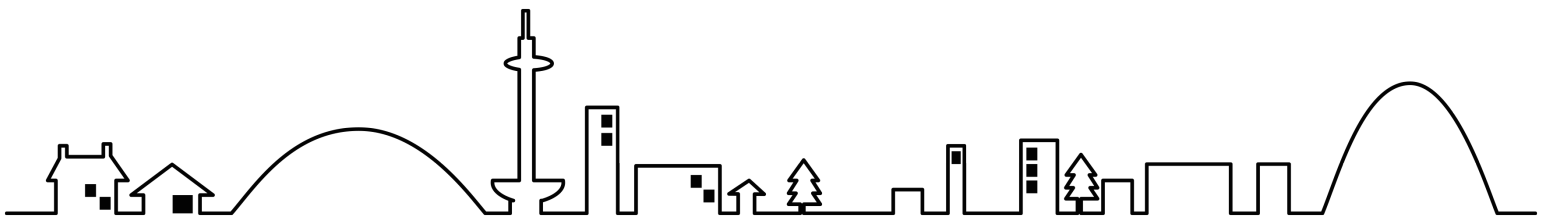
龍谷大学 深尾ゼミナール B
立命館大学 有働 堇

Z

佛教大学 大東ゼミ 「ひよこ」グループ
京都府立大学 池田 葉月



第 14 回 京都から発信する政策研究交流大会
学生実行委員会



公益
財団 大学コンソーシアム京都
法人 The Consortium of Universities in Kyoto